

令和4年度「沖縄型産業中核人材育成事業」

安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム

安全・安心な沖縄型ウェルネス ツーリズムコーディネーターについて

OKINAWA WELLNESS TOURISM COORDINATOR

GUIDANCE

一般財団法人沖縄県環境科学センター

安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズム コーディネーターの育成プログラムのねらい

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、経済に打撃を与え、人々の日常生活や価値観を変え、移動の自由を阻み、ツーリズム産業の根幹を揺るがしています。今後、ワクチンや治療薬ができたとしても、歴史が示すように新興感染症の再来は避けられません。ウィズコロナ、アフターコロナで求められる観光地の選択基準として「安全・安心」が最上位価値となり、自由な移動・滞在の確保、顧客満足度にも関わる「観光衛生マネジメント」が必要不可欠となっています。

ウィズコロナ、アフターコロナの観光では、従来の観光からの脱却が求められていきます。その際、感染症予防は「対策」という言葉に想起される従来の守りの姿勢ではなく、むしろ、観光客との信頼関係につなげるチャンスととらえ、誘客や収益増につなげる攻めのマーケティングという発想で感染症対策の基本事項を把握し、実践する力を身につけることがこれからの観光関連従事者にとって不可欠です。本研修は、ニューノーマルな観光産業のデザインに向けて、これからの観光に量から質への転換の視点を醸成し、高い付加価値を創造するとともに新たな需要を生み出す起点としての観光衛生マネジメント能力等を養うものです。

目指すべき人材像

プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域(資源・人・コミュニティ)と直接結びつき、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として協働で生み出すことができる沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターを目指します。提供サービスの付加価値が高まることで、地域の生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業関係者とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

本研修プログラムで得られる知識・技能・マインド

- 観光衛生マネジメントに関する知識
- 観光衛生マネジメントの具体的な手法および現場への適用に関する技能
- 沖縄および地域の観光の現状と課題の捉え方に関する知識・技能
- 観光の現状と課題を踏まえ、現実的かつ有効な観光資源の活用方法を見出す技能
- ウェルネスとSDGs(持続可能開発目標)の関係性に関する知識
- 地域の観光資源をウェルネス資源として捉え、SDGsの達成に寄与するウェルネスツーリズムを創出できる技能

研修の位置づけ

本事業は、沖縄の産業全体の意識向上に寄与することを目的に人材育成をおこなうものです。全ての研修を修了した者には、『内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）』より修了証が交付されます。

研修の注意事項

以下に、研修の参加における注意事項を示します。

原則オンライン研修

今年度の研修は、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を最大限考慮し、**全編オンライン研修とします。**

※現在、県医療非常事態宣言が発令されており、解除の見通した立たないため全てオンラインへ変更させていただきました。ご了承ください。なお、本研修で受けていただくメニューの変更はございません。

時間に余裕を持った対応

研修開始時刻の30分前より入室可能とします。
研修開始時刻に間に合うように、Zoomのシステムエラー等のチェックも含め時間に余裕を持って準備・ご入室ください。

資料等の取り扱い

本研修で配布されたテキストは他者へ配布したり、インターネットやSNS上にアップロードしたりしないようにお願いします。講義の録画等もご遠慮下さい。

欠席理由の報告

当日やむを得ず欠席する場合には、予め下記の担当者にご一報下さい。
また後日、必ず記録動画による補講の受講をお願いします。

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局

E-MAIL wellness_office@okikanka.or.jp

TEL:098-875-5208/FAX 098-875-1943

概要

本研修は、研修の全体説明（ガイダンス）および全18回の講義で構成されます（全6日間）。

研修方式	—	原則Zoomを使ったオンライン研修
研修日程	—	全18回／合計6日間開催（2022年9月2日～11月27日迄）

<研修日時>

日時	講義回	研修テーマ
9月2日（金） 13:00～15:00	第1回	ガイダンス／講座の全体説明
9月9日（金） 9:00～17:30	第2回 第3回 第4回 第5回	ウェルネスツーリズム概論 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅰ ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅱ アンケートの実施および提出
10月6日（木） 9:00～17:30	第6回 第7回 第8回 第9回	ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅰ ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅱ ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 アンケートの実施および提出
11月4日（金） 9:00～17:30	第10回 第11回 第12回 第13回	ウェルネスツーリズムとDX社会 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅠ ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅡ アンケートの実施および提出
11月26日（土） 9:00～17:00	第14回 第15回 第16回	持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅠ 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅡ 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅢ
11月27日（日） 9:00～17:00	第17回 第18回	持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅣ 持続可能なウェルネスツーリズム／企画課題発表

オンライン研修の準備

1. はじめに

本研修をオンラインで受講するための基本的なZoomの使用方法を概説します。

研修参加においては、受講生各自の責任でZoomミーティングへ円滑に参加できるよう、準備や操作方法の予習を行ってください。

※Zoomミーティングへの参加における詳細な手順・操作方法・トラブルの解消方法については各自でご確認下さい。

2. Zoomのご案内

事務局より、毎回オンライン研修用のメールが届きます。

Zoomのアプリケーションをお持ちでない方は、Zoomのホームページより内容を確認し、事前にアプリケーションのインストールをしていただきご準備をお願いいたします。

3. Zoomに参加する

メールに記載されたID/PW/URLからZoomにアクセスし、ミーティングを開始して下さい。

自身のアカウントのメニュー画面から「名前の変更」を行って下さい。

※名前は必ず「氏名（フルネーム）_団体名（省略可）」として下さい。

<注意事項>

- Zoomにログインした状態で、参加（入室）してください。
- ビデオをオンにして、顔が見える形で参加してください。（ビデオにて出席確認をします）
- 発言時以外は、マイクをミュートにしてください。
- クリアな音声で会話ができるよう、ヘッドセット（イヤホンマイク）の使用、静かな場所で参加するなど、周囲の雑音への配慮をお願いします。
- 高速通信が可能な環境でご参加ください。
- Zoomアプリケーションが最新版にアップデートされていることをご確認ください。
※古いバージョンでは機能が制限されて、研修に支障が生じる場合があります。

記録動画による補講

補講の対象

冠婚葬祭、病気で当日の研修に参加できない場合には、記録動画の閲覧による補講を認めます。
※ただし、業務都合による欠席は認められません。

欠席理由の報告

研修を欠席する場合には、該当の研修の前日までに事務局にその理由とともにご連絡ください。

補講の案内メール

記録動画を閲覧するアドレスについては、当日の研修への参加の有無によらず、後日を目途に受講生のメーリングリストで一斉送信します。当日不参加の方の補講だけでなく、当日参加者の復習にもご活用ください。

閲覧可能期間

記録動画の閲覧可能期間は原則として次回の研修日まで閲覧可能です。

注意事項

受講生以外の記録動画の閲覧は、ご遠慮ください。また、記録動画を撮影・保存することもご遠慮ください。

修了証交付基準

研修開始時のレポート・アンケートを提出すること

受講者および受講者の上長への意識調査等のためのレポート・アンケートを提出して下さい。

全ての研修に参加し、レポートを提出すること

- ◎ 予定されている全18回(6日間)の研修に参加する必要があります。
- ◎ 各講義は出席確認をおこないます。講義中は必ずビデオをONにしてご参加下さい。
- ◎ 病気や冠婚葬祭など、やむを得ない理由により当日受講できない場合には、特別措置として記録動画の閲覧による補講を認めます。
- ◎ 受講者自身および事務局が研修の理解度等を把握することを目的として、当日受講者および記録動画補講者ともに、所定様式に基づくレポートの提出を求めます。

グループワークに関する課題を提出すること

18回のグループワークでは、各自ウェルネスツーリズムの企画提案課題を発表いただきます。
※課題の詳細については、第13回修了後に事前説明いたします。

**研修後のレポート・アンケートを提出し、
レポートの理解度評価が7割以上であること**

- ◎ 研修後の受講者の理解度評価、意識調査等のためのレポート・アンケートの提出を求めます。
- ◎ レポートについては、受講生の本研修内容に対する理解度を評価し、その理解度が7割以上であることが必須条件となります。

修了証交付のために必要な提出物

研修開始時／受講者および受講者の上長への意識調査などのためのレポート(1回)

提出期限: 9月22日(木)まで

講義日ごと／レポートの実施(全6回)

- ・第2回 ウェルネスツーリズム概論
- ・第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅰ
- ・第4回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅱ

提出期限: 9月9日(金) ※第5回に各講座レポートを作成・提出

- ・第6回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅰ
- ・第7回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅱ
- ・第8回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化

提出期限: 10月6日(木) ※第9回に各講座レポートを作成・提出

- ・第10回 ウェルネスツーリズムとDX社会
- ・第11回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅠ
- ・第12回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅡ

提出期限: 11月4日(金) ※第13回に各講座レポートを作成・提出

- ・第14回 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅠ
- ・第15回 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅡ
- ・第16回 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅢ

提出期限: 12月9日(金) ※第14～16回は、各講座レポートを作成し後日提出

第17・18回講義後／ウェルネスツーリズムの事業プランとなる企画提案課題

提出期限: 12月16日(金) ※第17・18回は1回分としてレポートを作成し後日提出

全研修終了後(第18回講義後)／受講者および受講者の上長への意識調査のためのアンケート(1回)

提出期限: 12月16日(金)

研修内容について_スケジュール

CURRICULUM

カリキュラム開発の背景

本研修のカリキュラム開発の背景には、沖縄観光が策定する次期基本計画「第6次沖縄県観光振興基本計画」があります。具体的には、同計画に掲げられた目指す将来像「世界から選ばれる持続可能な観光地」、将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」に基づき、『社会』、『経済』、『環境』の調和が取れた沖縄観光の実現、持続可能な観光地域づくりの追求に取り組む県の将来方針に合致した研修内容としています。

講義概要	第1回 ガイダンス／講座の全体説明
座学 計12回	第2回 ウェルネスツーリズム概論
	第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅰ
	第4回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅱ
	第5回 アンケート実施
	第6回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅰ
	第7回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅱ
	第8回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化
	第9回 アンケート実施
	第10回 ウェルネスツーリズムとDX社会
	第11回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅠ
	第12回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデルⅡ
	第13回 アンケート実施
	グループワーク 計3回
第15回 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅡ	
第16回 持続可能なウェルネスツーリズム／企画提案グループワークⅢ	
グループワーク 計2回	第17回 持続可能なウェルネスツーリズム／事業企画提案グループワークⅠ
	第18回 持続可能なウェルネスツーリズム／事業企画提案グループワークⅡ

各講義形態のタイムスケジュール(予定)

座学 — 全18回中、2～13回に行う座学のタイムスケジュールは、以下の通りです。

<第2回目～第13回目／計12回講義>

9月9日(金)～ 11月4日(金) 座学 9:00～17:30 (260分)	座学① 80分	講義 60分	講義に対する質疑応答 20分
	休憩(20分)		
	座学② 90分	講義 60分	講義に対する質疑応答 20分
		休憩(90分)	
	座学③ 90分	講義 60分	講義に対する質疑応答 30分
		休憩(60分)	
	アンケート 90分	90分	

グループワーク — 全18回中、14～16回に行うグループワークのタイムスケジュールは、以下の通りです。

<第14回目～第16回目：計3回講義>

11月26日(土)	第14回 180分	企画課題作成	グループワーク (ウェルネスコンテンツの磨き上げ)
		120分	60分
休憩60分(移動を含む)※			
グループワーク Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 9:00～17:00 (360分)	第15回 120分	企画課題作成 (グループワークの内容フィードバック)	グループワーク (サスティナビリティの磨き上げ)
		60分	60分
	休憩60分		
	第16回 60分	企画課題作成 (グループワークの内容フィードバック)	
		60分	

※質疑応答時は、講師との忌憚のない意見交換を想定しています(トイレ休憩可)。

グループワーク — 全18回中17～18回に行うグループワークのタイムスケジュールは、以下の通りです。

※グループワークの内容は第13回までの講義の状況を踏まえて、変更する可能性があります。

<第17回目：タイムスケジュール>

11月27日(日)	前半 90分	グループワーク (企画発表方法、プレゼン資料の磨き上げ)	企画課題作成 (グループワークの内容フィードバック)
		30分	60分
グループワークⅣ 9:00～12:00 (180分)	後半 90分	プレゼンテーション	
		90分	

<第18回目：タイムスケジュール>

11月27日(日)	前半 210分	プレゼンテーション	
		210分	
グループワークⅡ 13:00～17:00 (240分)	後半 30分	講師陣・委員による総評	
		30分	

SDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズム コーディネーターの「8つの養成する力」

沖縄県の目指す将来像である「世界から選ばれる持続可能な観光地」、「持続可能な観光地域づくりの追求」の実現に資するため、日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」を関連づけた研修内容としています。



日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」

日本政府は2016年12月22日、持続可能な開発目標（SDGs）実施指針を決定しました。政府が、関係府省一体となって、あらゆる分野のステークホルダーと連携しつつ、広範な施策や資源を効果的かつ一貫した形で動員していくことを可能にするために、「5つの主要原則」を定めています。

ウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」

事業のカリキュラム開発目指す将来像「世界から選ばれる持続可能な観光地」、将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」に基づき、「社会」、「経済」、「環境」の調和が取れた沖縄観光の実現、持続可能な観光地域づくりの追求に取り組む県の将来方針に合致した内容としています。

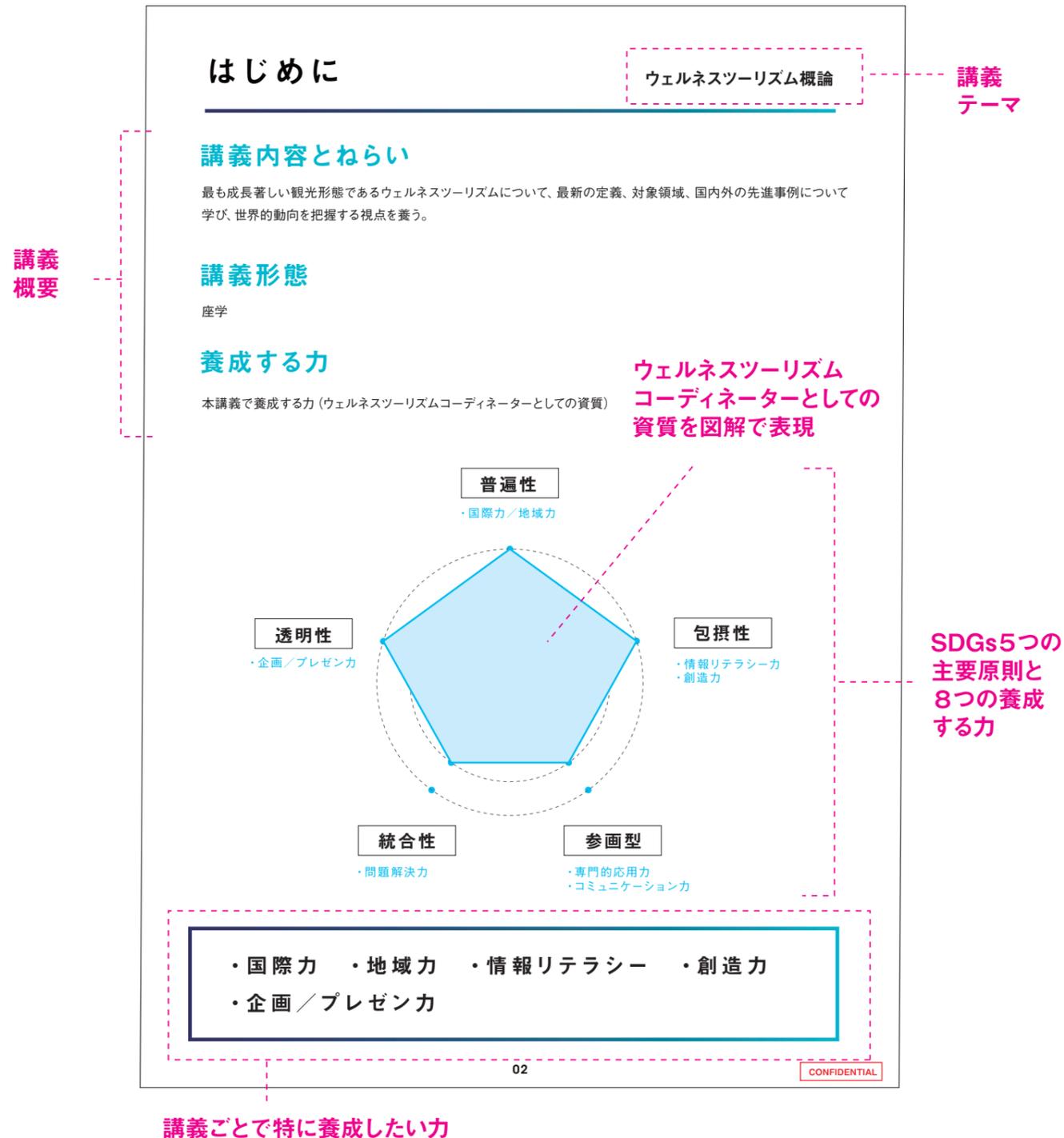
日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」	
普遍性	— 国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む。
包摂性	— 人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、脆弱な立場の人々まで誰一人取り残さない
参画型	— あらゆるステークホルダーの参画を重視し、全員参加型で取り組む。
統合性	— 経済・社会・環境の3分野の統合的解決の視点を持って取り組む。
透明性	— 取組状況を定期的に評価し、公表・説明する。

出典：持続可能な開発目標（SDGs）推進本部「持続可能な開発目標（SDGs）実施指標」

ウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」	
国際力	— 取り組む課題に対しグローバルな視点から考える力を醸成する。
地域力	— 取り組む課題に対し地域に根ざした視点から考える力を醸成する。
情報リテラシー力	— 取り組む課題に対し複数の意見や情報リソースを吟味する視点を醸成する
創造力	— 取り組む課題に対し新しい価値を生み出す視点を醸成する。
専門的応用力	— 取り組む課題に対し自身の専門性を活かす応用的視点を醸成する。
コミュニケーション力	— 取り組む課題に対し協調性、アライアンスの視点を醸成する。
問題解決力	— 取り組む課題を抽出し問題解決の糸口を見出す視点を醸成する。
企画／プレゼン力	— 取り組む課題に対し魅力ある企画にまとめ、プレゼンできる力を醸成する。

講義ごとの特性について

前ページで示したSDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」をダイアグラムで図解化し、講義ごとに養成する力の特性を表現しています。



SDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」の関係性

普遍性	— 国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む。
国際力 地域力	— 取り組む課題に対し グローバルな視点 から考える力を醸成する。 — 取り組む課題に対し 地域に根ざした視点 から考える力を醸成する。
包摂性	— 人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、脆弱な立場の人々まで誰一人取り残さない。
情報リテラシー力 創造力	— 取り組む課題に対し 複数の意見や情報リソースを吟味する視点 を醸成する。 — 取り組む課題に対し 新しい価値を生み出す視点 を醸成する。
参画型	— あらゆるステークホルダーの参画を重視し、全員参加型で取り組む。
専門的応用力 コミュニケーション力	— 取り組む課題に対し 自身の専門性を活かす応用的視点 を醸成する。 — 取り組む課題に対し 協調性、アライアンスの視点 を醸成する。
統合性	— 経済・社会・環境の3分野の統合的解決の視点を持って取り組む。
問題解決力	— 取り組む課題を 抽出し問題解決の糸口を見出す視点 を醸成する。
透明性	— 取組状況を定期的に評価し、公表・説明する。
企画/プレゼン力	— 取り組む課題に対し 魅力ある企画にまとめ、プレゼンできる力 を醸成する。

研修内容の構成について

本研修は「座学」、「フィールドワーク」、「グループワーク」の3つの講義形態で構成されています。

<講義形態>

座学 / フィールドワーク / グループワーク

<配布資料>

各日の講義日までに、下記の資料を受講生のメールリストにて配信します。
講義用テキストは、各講師が講義当日に提示する講義資料の補足となる「概要版」の位置付けとしています。

- 本研修の全体説明(ガイダンス)用資料(本資料)
- 第1回から13回までの講義用テキスト

▼講義用テキストイメージ



▼フィールドワーク対象場所



第1回

ガイダンス/講座の全体説明

一般財団法人沖縄県環境科学センター 総合環境研究所 SDGs事業実行班
環境科学部 自然環境課 兼任 赤嶺匠氏

講義形態 座学 講義時間 13:00 - 15:00

本育成プログラムの講座を本格的にはじめる前に、ウェルネスツーリズムコーディネーターに要する力の特性をダイアグラム図で解説する。解説後、研修生はアンケートに回答し、回答から算出された自身の初期ダイアグラム値を把握する(結果は次回以降配布)。



プロフィール

一般財団法人沖縄県環境科学センター 総合環境研究所 SDGs事業実行班
環境科学部 自然環境課 兼任 赤嶺匠氏

県内IT企業にてWebクリエイターとして活動の後、2017年に沖縄県環境科学センターへ入社。
自然環境、生活環境をはじめとしたあらゆる社会環境に係わるSDGsな事業の創出、実施に取り組んでいる。

9/2
金曜

第2回 ウェルネスツーリズム概論

国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 教授 荒川雅志氏

講義形態 座学 講義時間 9:00 - 10:20

最も成長著しい観光形態であるウェルネスツーリズムについて、最新の定義、対象領域、国内外の先進事例を学び、世界的動向を把握する視点を養う。



プロフィール

国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 教授 荒川雅志氏

福岡大学大学院医学研究科社会医学系博士課程修了、医学博士。世界5大長寿地域“ブルーゾーン”沖縄100歳者のライフスタイル研究、ウェルネス研究、ウェルネスツーリズム研究開発の第一人者、海洋療法学者。「ウェルネスツーリズム～サードプレイスへの旅」「なぜ海は体にいいのか」ほか著書論文多数。

第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策 I

兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋伸佳氏

講義形態 座学 講義時間 10:40 - 12:00

コロナ禍であらゆるツーリズムに安全・安心衛生対策が必須かつ最上位課題となっている。「観光衛生マネジメント」の理論と実際を学ぶ。



プロフィール

兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋伸佳氏

観光・旅行×医療・健康の融合による、健康社会の実現に向けた新たな領域・分野の創造を専門とする。SARSの感染拡大時からトラベルメディシンの知見を応用した安心・安全な観光・旅行の研究、振興にも取り組んできた。

第4回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策 II

一般財団法人沖縄県環境科学センター 生活科学部 微生物課 副参事 徳松安己彦氏

講義形態 座学 講義時間 13:30 - 15:00

ツーリズムにおける安全・安心衛生対策には様々な現場に即した体制整備、管理運営、検査手法がある。その主要事例から学ぶ。



プロフィール

一般財団法人沖縄県環境科学センター 業務部 業務課 副参事 徳松安己彦氏

沖縄県内の学校給食、保育所施設の安全・安心作りに取り組んでいる。長年にわたり、衛生管理指導、各種講演を行っている。JFS-A/B 規格(セクター:E/L)監査員研修コース修了/HACCP 指導者養成研修修了/FSSC22000 内部監査員養成研修修了

第5回 アンケートの実施および提出

講義形態 アンケート 講義時間 16:00 - 17:30

第2~4回の講座に関する研修効果の検証のためのレポート提出課題を実施。

第6回

ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生 I 株式会社ラグーン代表取締役／恩納村ダイビング協会理事 池野正一 氏

10/6
木曜

講義形態 座学 講義時間 9:00 - 10:20

内なる環境（健康）と外部環境、自然との共生を図るウェルネスツーリズムの理解促進のために、サステナブル（持続可能）をテーマにした事例から学ぶ。



プロフィール

株式会社ラグーン代表取締役／恩納村ダイビング協会理事 池野正一 氏

サンゴの村<恩納村>にて、本業のダイビングショップとともに恩納村漁業協同組合が行うサンゴ養殖と植付け、サンゴの大切さなどを一般に広める取り組みを行っている。

第7回

ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生 II 恩納村農業環境コーディネーター 桐野龍 氏

講義形態 座学 講義時間 10:40 - 12:00

自然環境を「ウェルネス資源」としてどのように活かせるか。健康癒し・気づきのウェルネスメニュー開発事業者の事例に学ぶ。



プロフィール

恩納村農業環境コーディネーター 桐野龍 氏

沖縄県に来て20年が経ち、お世話になった恩納村に何か恩返しができないか奮闘している。赤土&ハチミツおじさんとして、ミツバチを使って赤土流出防止とサンゴ保護に取組む「ハニー&コーラルプロジェクト」を展開している。

第8回

ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 株式会社南都 執行役員 ガンガラーの谷事業所長 高橋巧 氏

講義形態 座学 講義時間 13:30 - 15:00

地域住民の真正で活き活きとした暮らしがウェルネスまちづくりに繋がり、誘客に成功した事例を観光地経営の視点から学ぶ。



プロフィール

株式会社南都 執行役員 ガンガラーの谷事業所長 高橋巧 氏

千葉県出身。琉球大学地理学教室卒。学生時代ワンゲル部に所属し、やんばる西表等の探検や国内外での登山カヤック等に取組む。2004年南都入社。2008年ガンガラーの谷再公開時に現状のガイドツアーを企画。その後はMICE企画等も牽引。2016年より現職。

第9回

アンケートの実施および提出

講義形態 アンケート 講義時間 16:00 - 17:30

第6～8回の講座に関する研修効果の検証のためのアンケート（提出課題）を実施。

第10回

ウェルネスツーリズムとDX社会

一般財団法人沖縄県環境科学センター 総合環境研究所 SDGs事業実行班
環境科学部 自然環境課 兼任 赤嶺 匠 氏

11/4
金曜

講義形態 座学 講義時間 9:00 - 10:20

ウィズコロナ／アフターコロナでDX化が求められる今般、業務やサービスへデジタルを取り入れていくためにDX化すべきポイントとマインドを学ぶ。



プロフィール

一般財団法人沖縄県環境科学センター 総合環境研究所 SDGs事業実行班
環境科学部 自然環境課 兼任 赤嶺 匠 氏

県内IT企業にてWebクリエイターとして活動の後、2017年に沖縄県環境科学センターへ入社。自然環境、生活環境をはじめとしたあらゆる社会環境に係わるSDGsな事業の創出、実施に取り組んでいる。

第11回

ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル I 株式会社EMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人 西淵泰 氏

講義形態 座学 講義時間 10:40 - 12:00

ウィズコロナ／アフターコロナで危機にあえぐ宿泊業にウェルネスはどう生かせるか。持続可能な宿泊業のあり方について学ぶ。



プロフィール

株式会社EMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人 西淵泰 氏

宮城県出身。琉球大学農学研究科修士課程修了。高校時代にEM技術を紹介した比嘉照夫著「地球を救う大変革」を読み感銘を受け琉球大学に進学。2002年EM研究機構入社、EM技術を活用した農業や環境浄化の国内外の現場担当を務めた後、2015年からホテル事業を担当。2019年よりEMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人に就任し、現在に至る。

第12回

ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル II 株式会社 星野リゾート 沖縄読谷事業所開業責任者・総支配人 澤田裕一 氏

講義形態 座学 講義時間 13:30 - 15:00

ウィズコロナ／アフターコロナで危機にあえぐ宿泊業にウェルネスはどう生かせるか。持続可能な飲食ビジネスのあり方について学ぶ。



プロフィール

株式会社 星野リゾート 沖縄読谷事業所開業責任者・総支配人 澤田裕一 氏

立教大学観光学部卒業。総合不動産を経て2004年星野リゾート入社。2006年に星のやブランドマーケティングのディレクターとして従事。2010年「星のや軽井沢」の総支配人の後、「星のや竹富島」、「星のや富士」、「星のや東京」の開業責任者や総支配人を経て、2019年より「星のや沖縄」「パンタカフェ」を含む、沖縄読谷事業所の開業責任者・総支配人に就任。

第13回

アンケートの実施および提出

講義形態 アンケート 講義時間 16:00 - 17:30

第10～12回の講座に関する研修効果の検証のためのアンケート（提出課題）を実施。

11/26
土曜

第14回 持続可能なウェルネスツーリズム 企画提案グループワークI

講義形態 グループワーク 講義時間 9:00 - 12:00

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、
これまで学んだ知識を生かした企画提案を制作する。

グループワーク担当講師等

事務局／荒川雅志 氏

グループワーク／企画課題作成

第15回 持続可能なウェルネスツーリズム 企画提案グループワークII

講義形態 グループワーク 講義時間 13:00 - 15:00

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、
これまで学んだ知識を生かした企画提案を制作する。

グループワーク担当講師等

事務局／荒川雅志 氏

グループワーク／企画課題作成

第16回 持続可能なウェルネスツーリズム 企画提案グループワークIII

講義形態 グループワーク 講義時間 16:00 - 17:00

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、
これまで学んだ知識を生かした企画提案を制作する。

グループワーク担当講師等

事務局／荒川雅志 氏

企画課題作成

11/27
日曜

第17回 持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークI

講義形態 グループワーク 講義時間 9:00 - 12:00

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、
これまで学んだ知識を生かした企画提案を制作する。

グループワーク担当講師等

事務局／荒川雅志 氏

グループワーク／企画課題作成／プレゼンテーション

第18回 持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークII

講義形態 プレゼンテーション 講義時間 13:00 - 17:00

持続可能なウェルネスツーリズム事業プランの企画提案を発表、有識者らの採点ポイント、
講評をもとに総括を行う。

グループワーク担当講師等

事務局／荒川雅志 氏

プレゼンテーション／講師陣・委員による総評

お問い合わせ

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局
沖縄型産業中核人材育成事業 一般財団法人沖縄県環境科学センター

E-MAIL : wellness_office@okikanka.or.jp

TEL : 098-875-5208 / FAX : 098-875-1943

※お問い合わせの際、「ウェルネスツーリズム」の件で問い合わせいただいた旨お伝えください。